

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会
IMBeR小委員会
(第26期・第1回)

議 事 要 旨

1. 日 時 令和7年3月18日（火）12:00～13:20
2. 会 場 ハイブリット（東京大学大気海洋研究所2F会議室＋オンライン）
3. 出席者 齊藤 宏明、伊藤 進一、小川 浩史、川合 美千代、清田 雅史、
小杉 如央、鈴木 光次、西岡 純、濱崎 恒二、藤井 賢彦、
藤木 徹一、山下 洋平
4. 議 題
 - (1) 第26期役員の決定について
委員長として山下委員、幹事として藤井委員と脇田委員が選出された。
 - (2) 議事要旨の提出に関する委員長一任について
議事要旨の提出は、委員長に一任することが承認された。
 - (3) 委員間のメールアドレス共有について
山下委員長より、各委員の委嘱連絡や小委員会開催連絡を行うため、小委員会委員のメールアドレスを収集し、日本学術会議事務局と共有したことが報告された。
 - (4) IMBeRの活動状況
 - ①International SSCについて
山下委員長より、IMBeR のInternational SSCとして藤井委員が選出されたことが報告された。また、藤井委員よりIMBeRの現状について、報告された。
 - ②ESSASについて
山下委員長より、2025年6月24–26日にOpen Science Meeting 2025が立川で開催されることが紹介された。
 - ③Future Oceans3について
齊藤委員より、2025年5月にFuture Oceans 3がハイブリッド（上海 & オンライン）で開催され、2025年秋に終了が予定されているIMBeRの成果および後継プ

プロジェクトに関して議論されることが紹介された。

(5) IMBeR-CLIVAR合同研究集会の開催について

山下委員長より、CLIVAR小委員会と合同で「海洋熱波に関する物理過程およびその生物地球化学的動態・生態系への影響」に関する研究集会を企画し、東京大学大気海洋研究所・柏地区共同利用研究集会に採択され、2025年6・7月に対面での研究集会を実施する予定で調整中であることが報告された。齊藤委員より、本研究集会を企画した経緯が説明された。また、鈴木委員より、海洋熱波と生物地球化学的循環および生態系に関する研究を展開されている国立環境研究所の中岡博士と高尾博士が紹介され、本研究集会での講演を依頼することとした。

(6) 白鳳丸航海

①東部インド洋航海について

齊藤委員より、齊藤委員が主席を務め、2024年8月26日から9月22日に実施された東部インド洋航海(KH-24-3)について報告された。

②東部北太平洋航海について

小川委員より、小川委員が主席を務める、2025年8・9月に実施予定の東部北太平洋洋航海(KH-25-4)について紹介された。

③令和8・9・10年度学術研究船白鳳丸共同利用公募への応募について

山下委員長より、令和8・9・10年度学術研究船白鳳丸共同利用公募へ「中部南太平洋南北断面観測による生物地球化学・生態学の統合的研究」を応募したことが報告された。

(7) その他の航海情報について

濱崎委員より、濱崎委員が主席を務める、2026年2・3月に西部北太平洋で実施予定の白鳳丸航海 (KH-26-1) について紹介された。

(8) 第26期の活動方針について

第25期に引き続き、本小委員会において海洋の生物地球化学および生態系に関する科学的な議論および情報交換を行い、協力して航海を実施していくことが確認された。また、IMBeRの後継プロジェクトが決まり次第、本小委員会の今後の活動方針について議論を開始することが確認された。

(9) その他

①BioGeoSCAPES Implementation Workshopについて

鈴木委員より、BioGeoSCAPESプロジェクトの現状および2024年2月11-13日に

開催されたBioGeoSCAPES Implementation Workshopについて報告された。

②CREST海洋カーボン・さきがけ海洋バイオスフィアのUNDOS Project申請と第3期公募について

伊藤委員より、CREST海洋カーボン・さきがけ海洋バイオスフィアを国連海洋科学の10年（UNDOS）のプロジェクトへと申請したこと、またCREST海洋カーボン・さきがけ海洋バイオスフィアの第3期公募スケジュールがJSTのWebページに公開されたことが報告された。

③第26期カーボンニュートラル連絡会議への参加について

山下委員長より、カーボンニュートラルに関する学術会議内の各組織（課題別委員会、機能別委員会、分野別委員会、分科会、小委員会）での横のつながりである第26期カーボンニュートラル連絡会議へ、IMBeR小委員会が参加したことが報告された。

④藤井委員よりIMBeRとの関連の深い、GOA-ONプロジェクトに関する現状が報告された。GOA-ONではデータ公開に力をいれており、データ公開用のポータルサイトが既にあるが、東アジアのデータが不足しており、日本からの貢献が期待されていることが紹介された。

(了)